

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	建築基礎の長寿命化検討小委員会		主 査 名：柏 尚稔 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：五十田博 (主 査 名：田村修次)
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、現在利用されている、もしくは新たに建築される建物基礎を、世代を超えて利用する方法を検討し、建築分野として環境問題に資することを目的とする。</p> <p>初年度：既存の基礎を長寿命化するに当たっての課題の抽出・整理 2年度：新設の基礎に対して長寿命化を考慮する場合の要件および課題抽出 3年度：個々の技術開発や構造設計法の観点から、解決方法（案）を議論・整理 4年度：成果のとりまとめ</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：柏 尚稔 (大阪大学) 幹事：長尾俊昌 (大成建設) 委員：奥村豪悠 (竹中工務店)、木谷好伸 (三谷セキサン)、佐々木修平 (住友林業)、 勝二理智 (大林組)、三町直志 (日本郵政)、山田祥平 (日建設計)、 大和由佳 (清水建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	—		
2023 年度予算	130000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 新設の基礎および既存の基礎の利用促進に対して長寿命化を考慮する場合の要件および課題を抽出するとともに、将来的に必要となる新たな技術開発についての議論を実施した。
委員会活動の問題点・課題	1. 既存杭利用促進のためのインセンティブの位置づけ 2. 環境に対する基礎工事の影響度評価 (CO2 排出量評価) の実態と方向性